

日常の「安全・安心」の先に 「希望」と「喜び」を 見いだせるまちへ

東坂浩一市長メッセージ

このたびの市長選挙におきまして、市民の皆さまから負託を賜り、引き続き3期目の重責を担わせていただくこととなりました。その職責の重さを深く自覚するとともに、果たすべき使命を全うする覚悟を改めて強くしたところです。

新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態に直面している今、まさに大東市の真価が試されるときです。市民の皆さまをはじめ、議員の皆さま、職員、全ての力を結集させ、新型コロナウイルス感染症によって奪われた平穏な日々を、**日常に近づけ、取り戻す**。そしてさらには、感染症の拡大を契機に再構築される新しい社会構造や新しい価値社会における変革の主体者として大東を**発展、飛躍させる**。それが私に与えられた使命であると信じ、市政運営に一層邁進していく所存です。

これまで本市は、『**公民連携**』という新しい手法を取り入れ、市の「体質の改善」を行い、『**住民自治**』の促進により「体力の強化」を図ってきました。今後は、積極的に新しい仕組みや技術を取り入れ、「能力の開発」を行い、その力を地域に生かす取り組みを進めます。限られた財源により「あれかこれかの選択」しかできなかったこれまでの市の事業は、これらによって、「あれもこれもの実現」が可能となります。

今日までに着実に積み上げてきた実績がもたらす「安心」と「信頼」を確実なものとし、その先に「希望」と「喜び」を感じ取ることができるまちを実現できるよう、「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」を、まちづくりの基本姿勢とし、力強く市政を運営してまいります。

以上の基本姿勢のもと、次に掲げる**5つの柱**を軸として、施策を展開してまいります。



1

新型コロナウイルス感染症対策

「安全・安心」を前提とした上で、今後「①日常に近づける」「②日常を取り戻す」「③日常を発展させる」の3つのステップによって、皆さまに安心の日常をご提供します。

<今後の取り組み>

企業や医療・福祉、高齢者、障害者、若年者層を重点ターゲットに、国や大阪府が実施する新型コロナウイルス感染症対策の支援が届かない隙間を埋めるきめ細やかな取り組みを、市独自に実施します。

- ❖ **大東市事業者支援金給付費** (5ページを参照) 2億9,835万円
緊急事態宣言に伴い、経営に大きな影響を受けているものの、国や大阪府の支援金給付の対象外となっている事業者に対し、事業の継続を支援します。
- ❖ **宅配ボックスの設置補助** (5ページを参照) 100万円
人との接触を避ける「新しい生活様式」においても円滑に日常生活を送る体制を整えます。
- ❖ **介護施設・障害福祉サービス事業者に対する、感染予防にかかる費用補助** 1,474万円
- ❖ **ふるさと納税の用途項目に感染症対策を創設** (5ページを参照)

<これまでの取り組み>

◇ 感染予防対策

- ・妊娠中や産後6か月までの人へのマスクの配布 110万円
- ・子育て施設への空気清浄機の設置 440万円
- ・テレワーク導入企業に対する機器などの費用補助 300万円

◇ 市民の生活支援対策

- ・大東市新型コロナウイルス対策給付金事業(小・中学生に1万円) 9,846万円
- ・公立小中学校給食の無償化(1学期の間)
- ・保育所・認定こども園の0～2歳児の保育料無償化(令和2年7月まで)
- ・公の施設の休館などによるキャンセルに伴う利用料金の全額返還
- ・上水道基本料金の4か月間の無料化

◇ 企業の経営支援対策

- ・中小企業向けセーフティネット等関連融資の信用保証料補助(上限10万円) 5,000万円
- ・小規模事業者経営改善資金融資(マル経)に対する利子補給 310万円
- ・公の施設の休館等による指定管理者への利用料金等補填 3,000万円



2

志向の変革

自粛生活の長期化によって、人々の志向は「物質的豊かさ」から「精神的な豊かさ」へ、「量」から「質」へと変化してきています。特に「安全・安心」に対する価値意識が高まっており、災害などに強いまちづくりをさらに推進していきます。

❖ 危機管理体制の充実

- ・【新規】支援ツールの配置
避難所において、支援が必要な人が、適切な配慮を受けられるよう支援ツールを配置します。
- ・【新規】消防団車両にドライブレコーダーを設置



消防団車両のドライブレコーダー（イメージ図）

❖ 市民が安心して暮らせる環境の充実

- ・【新規】ロボット掃除機の貸し出し
介護人材不足の解決のため、関係機関へロボット掃除機を貸し出すことにより、掃除支援にかかる時間をホームヘルパーにしかできない入浴などの介助に充てることが可能となります。

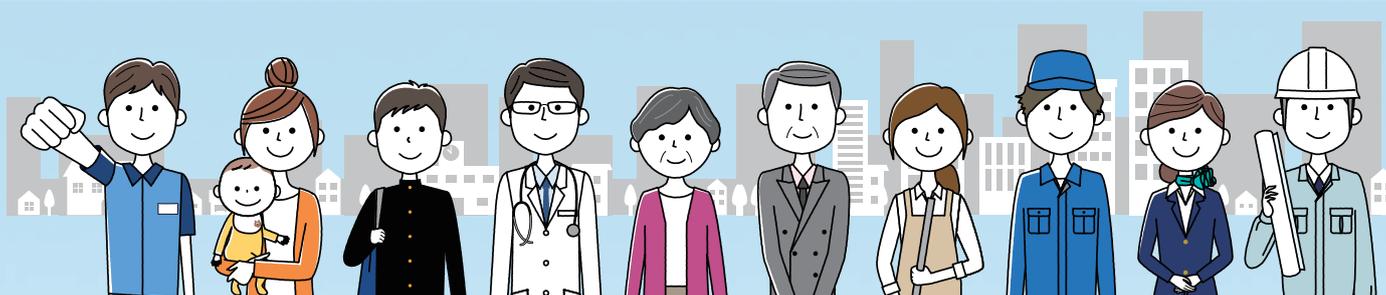
3

働き方の変革

働き方の幅や選択肢が拡大し、新しい働き方への移行が進んでいます。市役所業務においても、市民の皆さまにご来庁いただく必要性の極小化や有事の際などに、柔軟で機動的に対応できる体制づくりを積極的に進めていきます。

❖ 市役所機能の見直し

- ・【新規】フレックスタイム制の導入検討
始業・終業時間を柔軟に設定することで、より市民ニーズに合わせたサービスの提供が可能となります。
- ・【新規】モバイル職員の導入検討
業務の効率化によって時間をうみだすことで、職員が自ら地域に出向き、あらゆる地域課題に対応できる新たな働き方の実現が可能となります。



4

人とのつながりの**変革**

今後、非接触型コミュニケーションの増加に伴う対応が必要となる一方で、コミュニティや人と人との関わりが重要となります。新たな技術や仕組みを積極的に取り入れるとともに、「住民自治」を推進することにより、コミュニティの維持向上を図ります。

❖ **教育・保育体制の充実**

- ・【**新規**】市立小中学校のオンライン授業の実施(GIGAスクール推進事業)
3億4,943万円
学校にインターネット環境を整備するとともに、子ども一人に1台のパソコン端末を提供することで、一人ひとりがそれぞれ最適に学ぶことができるようになります。
- ・【**新規**】保育所・認定こども園・幼稚園の副食費の無償化



GIGA スクール推進事業 (イメージ図)

❖ **コミュニティの充実**

全世代地域市民会議など、自分たちのコミュニティを自分たちで作り、守る体制を推進します。

5

都市の在り方の**変革**

価値意識の変化により、これまでの価値に基づくまちづくりの戦略は、新しい価値社会に則して見直すことが必要となっています。コロナ禍に加え、従来の労働力人口の減少や少子高齢化の進展に伴う諸課題を解決する有効な手段の一つとして「公民連携」を推進し、まちの魅力を高めます。

❖ **民間活力の活用**

- ・【**新規**】民間提案制度を通じた、新型コロナウイルス感染症に関する事業の提案募集
500万円
感染症対策をはじめとするさまざまな提案を募集し、新しい価値社会で市民サービスの向上と企業活動のサポートを同時に進める取り組みを推し進めます。
- ・【**継続**】北条まちづくり事業
3億7,164万円
飯盛園第二住宅の建て替えを中心に進めている第1期事業がまもなく完了し、まちびらきを迎えます(7ページを参照)。
- ・【**継続**】2駅周辺整備事業
27億459万円
野崎駅、四条畷駅の2駅について、住民の利便性の向上などを目的に駅前広場や周辺道路の整備を進めていきます。



北条まちづくり事業



2 駅周辺整備事業 (野崎駅)